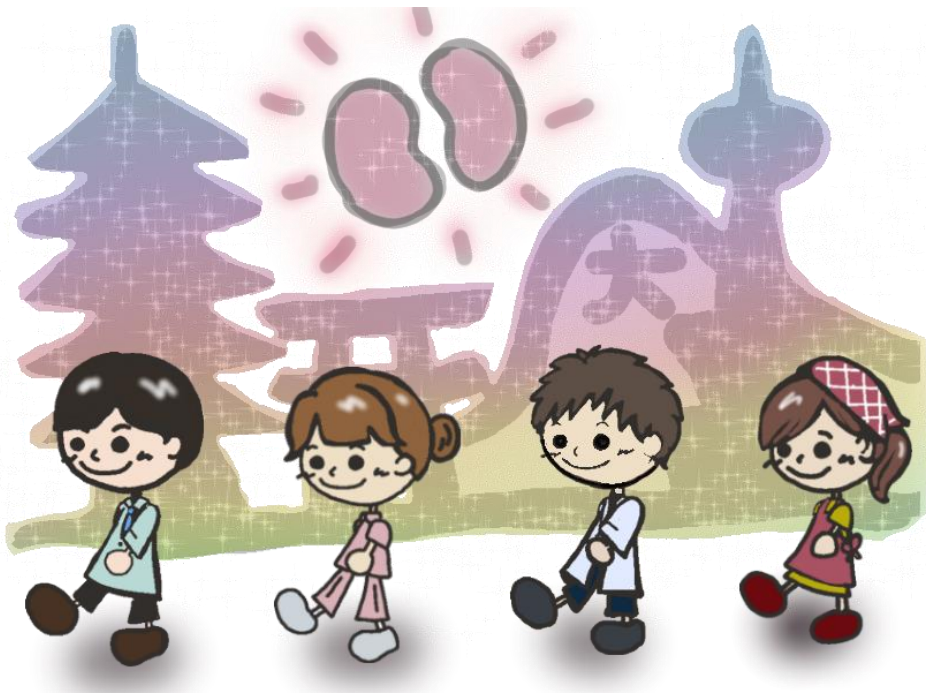


薬局業務研修会 (Web 開催)

チェックCKDシールの意義と薬剤師の役割 ～ チェックCKDシールの運用について ～



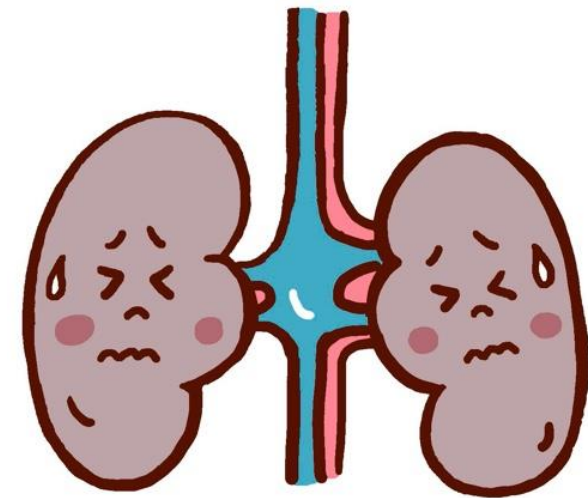
一般社団法人 京都府薬剤師会
CKDワーキンググループ 中林 保

令和 5年 6月 4日 (日)

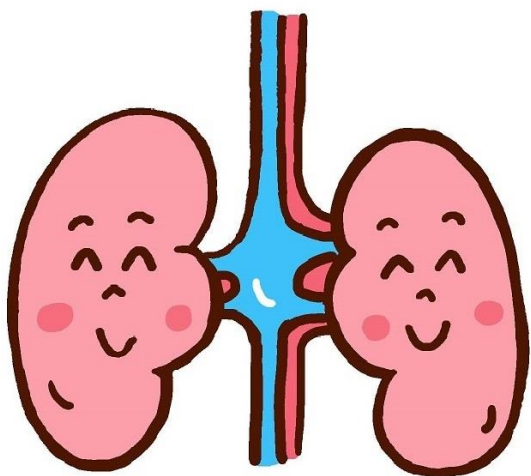


Kyoto Pharmaceutical Association

**慢性腎臓病（CKD）患者は
年々増加し、成人の8人に1人
がCKDとされています。**



**医薬品使用にあたり腎排泄型及び腎毒性の
ある薬剤の適正使用が、喫緊の課題とされ、
薬剤師の積極的な介入が求めら
れています。**



みんなでももる あなたの腎臓

ふせごう慢性腎臓病(CKD)



「お薬手帳CKDシール」

慢性腎臓病(CKD)は成人の8人に1人が有する新たな国民病です。滋賀県では、CKDを早く見つけその進行を防ぐために、**お薬手帳CKDシール**や**CKD診療パス**などをもちい、連携診療を行っています。

滋賀県、滋賀県医師会、滋賀県薬剤師会、滋賀県病院薬剤師会、滋賀県看護協会、滋賀腎・透析研究会、日本慢性腎臓病対策協議会(J-CKDI)、滋賀医科大学

滋賀県で2012年3月スタート

平成30年度 日本医療薬学会論文賞受賞

医療薬学43(11) 601—609 (2017)

磯野哲一郎¹、國津侑貴¹、増田恭子¹、平 大樹¹、荒木久澄²、荒木信一²、宇津 貴²、寺田智祐^{*1}

滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部¹、糖尿病内分泌・腎臓内科²



Kyoto Pharmaceutical Association

滋賀県全域で5年にわたり展開されたCKDシールのアウトカム評価

磯野哲一郎¹、國津侑貴¹、増田恭子¹、平 大樹¹、荒木久澄²、荒木信一²、宇津 貴²、寺田智祐^{*1}
滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部¹、糖尿病内分泌・腎臓内科²

Outcome Evaluation of the CKD Sticker for Five Years in Shiga Prefecture

Tetsuichiro Isono¹, Yuki Kunitsu¹, Kyoko Masuda¹, Daiki Hira¹,
Hisazumi Araki², Shin-ichi Araki², Takashi Uzi² and Tomohiro Terada^{*1}
Department of Pharmacy¹, Division of Diabetology, Endocrinology, and Nephrology²,
Shiga University of Medical Science Hospital

[Received June 12, 2017
Accepted August 29, 2017]

The proper use of drugs with renal excretion and nephrotoxicity is an urgent problem due to the increase in CKD patients. We have been sharing renal function data on CKD patients among medical staff, including community pharmacists, using the CKD sticker since March, 2012 in Shiga. The CKD sticker is affixed to the medication book of CKD patients. We performed questionnaire surveys of all community pharmacies in Shiga for five years from 2012 to 2016, and examined the utility of the CKD sticker. The CKD sticker was recognized at 98.6% of pharmacies in 2016. Pharmacies attended the utility of the CKD sticker increased to 68.8% in 2016. In addition, there were no local differences among 9 branches in the Shiga Pharmacist Society in 2016. The number of pharmacies that performed questionnaire inquiries based on the CKD sticker increased from 7.7% in 2012 to 24.7% in 2016. Pharmacies that performed about patients with CKD stickers greatly increased in 2016, and the number of prescription changes increased. The spread of CKD stickers was observed throughout the prefecture, and this study demonstrated that the CKD sticker was a useful tool for questionable inquiries. The CKD sticker helped to avoid the use of drugs in cases with nephrotoxicity and to reduce the quantity of drugs in cases with renal excretion, allowing for safe medication of CKD patients.

Key words — CKD sticker, proper use of drugs, sharing renal function data, questionable inquiries

結言

現在、慢性腎臓病 (chronic kidney disease: CKD) 患者は増加の一途を辿っており、推計患者数は約1,330万人、成人の8人に1人にもほのぼのしている。¹⁾ CKD患者の多くは、糖尿病、高血圧、および慢性糸球体腎炎といった基礎疾患のある患者であるが、特に明らかな基礎疾患を有していても、加齢に伴い腎機能が徐々に低下してCKDとなる患者も少なくない。²⁾ CKD患者の増加に伴い、2010年代初頭には、CKD患者にダビガトランを投与し死亡に至った例 (https://www.pmda.go.jp/files/000145551.pdf, 2011年8月12日) や、炭酸リチウムによりリチウム中毒に至った例 (https://www.pmda.go.jp/files/000145551.pdf, 2012年9月25日) が立て続けに医薬品医療機器総合機構から注意喚起され、腎排泄型薬剤の過量投与が問題となった。また、末期腎不全患者では、平均して6つの基礎疾患に罹患し、12種類の薬剤を処方されていると報告されており、³⁾ CKD患者や高齢者では、複数の医療機関から薬剤を処方されることが多い。従って、処方医が全てを確認するには限界があり、「かかりつけ薬局」は、安全上、重要な役割を腎排泄型や腎毒性のある

滋賀県全域で5年にわたり展開されたCKDシールのアウトカム評価 (抜粋)

医療薬学43(11) 601—609 (2017)

緒言

- **CKD患者や高齢者**では、複数の医療機関から薬剤を処方されることが多い。従って、**処方医が全てを確認するには限界**があり、「**かかりつけ薬局**」は最後の砦として、**医療安全上、重要な役割を担っている**。
- **CKD患者に腎排泄型や腎毒性のある薬剤を投与されている場合**、薬剤師は処方内容をより慎重にチェックすることが求められており、**安全性に関する疑義照会を行うことに関しては医師からの要望も多い**。
- 実際に**腎機能低下による過量投与に関する疑義照会の経験は**、**病院薬剤師が72%**に対して、**薬局薬剤師は28%**と**保険薬局で圧倒的に少ない**ことが報告されていた。

- ・CKDシールが認知・普及されていても、実臨床で活用されているか、有用性があるかについては十分に評価されていなかった。
- ・**CKDシールが患者の腎機能低下を知らせる手がりとして活用**されつつあることが示された。
- ・本研究では、滋賀県で**CKDシールが実際に疑義照会のツールとして活用**されていることを初めて示した。
- ・CKDシールはお薬手帳にシールを貼付するだけといった簡便なシステムであるため、活用地域を拡大させることが比較的容易であり、**低コストで高リターンが得られる情報共有ツール**として利便性が高いと考えられる。
- ・お薬手帳をツールとするうえで**問題となるのが**、患者が**お薬手帳を持参していない**ことがしばしば見受けられることである。従って、CKDシールを貼付する際に、**お薬手帳・CKDシールの意義・有用性を理解**してもらうよう**患者に説明**していくことが重要となる。
- ・今後さらに**医師・薬剤師が連携**して、CKDシールの運用を拡大することにより、超高齢社会を迎え増加する**CKD患者における安全で効果的な薬物療法の遂行**に繋がることが期待される。

全国に広がるCKDシール



滋賀県



山形県



兵庫県立西宮病院



長崎県



千葉県



三重県



京都府薬剤師会 CKDワーキンググループ 2022年4月設置

(京都府薬剤師会、京都腎臓医会、京都薬科大学の合同ワーキング)



京都らしく

五重塔

京都タワー

鳥居 (平安神宮)

紅葉 (楓～紅葉)

桜

イチョウの葉



京都腎臓医会、京都府薬剤師会、京都腎臓病療養指導士会、京都腎臓・高血圧談話会



Kyoto Pharmaceutical Association

チェックCKDシールの運用について

1. 目的

チェックCKDシール（チェックCKDシールは以下「シール」と称する）を情報共有ツールとして活用し、腎機能低下時の医薬品適正使用に貢献する。

2. 期待できる効果

- ① 過量投与の回避、副作用の軽減、禁忌薬の回避、腎毒性薬の回避
- ② 医療機関と薬局、薬局間の腎機能情報の共有と連携の強化
- ③ 医師および薬剤師の腎機能低下時の医薬品適正使用に対する意識の向上



3. 運用方法

- 1) **医師が「シール貼付基準※」に従いお薬手帳表紙等にシールを貼付。**
但し、お薬手帳等の更新時等、シールの貼り替えは薬剤師も可。

※シール貼付基準

eGFR \leq 50mL/min/1.73m²が3ヶ月以上持続
3か月以上空けて2回以上の検査値を確認

- 2) 薬剤師は患者持参のお薬手帳表紙等に貼付されたシールを確認する。
- 3) 薬剤師は腎機能を把握し、薬剤選択や用法用量・投与間隔等の検討（鑑査）を行い、必要に応じて疑義照会を行う。

① 検査値記載シールを活用する。

そのことで処方薬の用法・用量等が評価しやすくなる。

検査値記載シールはお薬手帳内の薬剤情報欄に時系列に貼付する。

尚、記載シール毎回貼付する必要はなく、必要に応じて適宜貼付・記載する。

② 検査値載シールは、医師、薬剤師の双方が貼付、記載可とする。

採血日：20 年 月 日			
■身長	cm	■体重	kg
■BSA	m ²		
■SCr	mg/dL	■eGFR	mL/分/1.73m ²
メモ K:	mEq/L	HbA1c:	%



4. 薬歴（薬局）

薬歴表紙（サマリー）にシール貼付対象者であることが確認できるように記載しておくこと。

5. シール運用開始にあたって

- ① チェックCKDシール短編動画（医師編、薬剤師編）を視聴すること
- ② 令和4年7月24日（日）に開催した「腎機能低下時における医薬品適正使用に関する研修会」を視聴していることが望ましい（申込制・オンデマンド配信）。
- ③ 腎機能に係る用法・用量、禁忌薬の評価の参考は、添付文書及び下記資料を参考
 - * 日本腎臓病薬物療法学会HP：「腎機能低下に最も注意が必要な薬剤投与量一覧」
 - * 書籍：腎機能別薬剤投与量 POCKET BOOK（じほう） など



Point



6. シールについて患者への説明

シールは慢性腎臓病（CKD）であることを示すためではなく、医薬品の適正使用に用いるためであること。

「腎臓の働きに応じて薬の種類や量などの考え、薬の悪い影響が出ないように患者さんの身体を守るためのシール」など。



7. シールおよび検査値記載シール等の請求先

京都府薬剤師HPの「チェックCKDシール等申請書」に必要事項を入力する。



シーケーディー
チェックCKDシールのご案内



- ◆ CKDとは じんぞう 慢性腎臓病 のことです。
- ◆ 腎臓の働きが弱くなっていると、お薬によっては体から出ていくのに時間がかかり、悪い影響が出ることがあります。
- ◆ 処方箋に印字されている血液検査や、患者さんにお見せいただく血液検査値により、お薬の悪い影響が出やすい可能性があると考えた場合は、お薬手帳や保険証等カバーなどの表面に「チェックCKDシール」を貼らせていただきます。
- ◆ 患者さんの腎臓の働きに応じて、お薬の種類や量、飲み方、飲む間隔などを考え、あなたを守ります。

他の医療機関や薬局に行かれるときは
お薬手帳や保険証等カバーなどに貼付した
チェックCKDシールをお見せください。



あなたとあなたのおくすり見守り隊



チェックCKDシールは
あなたを見守る大切なシールです

血液検査の結果をお持ちの方は、医師・薬剤師にお見せください。

お薬を安心・安全に使用して、あなたの腎臓、お身体を守るために、皆様のご協力をよろしくお願いします。

あなたを守ります。

あなたを守りたい

異世界薬局
監修 日本薬剤師会
京都薬師会
京都 Pharmaceutical Association

薬の知識で
あなたを守りたい

目の届かない腎機能低下患者への気づき
医薬品の適正使用のために